

## 2. 恩納村における農業・水産業等の現状

### 1) 農業経営体数と販売農家数

#### (1) 農業経営体

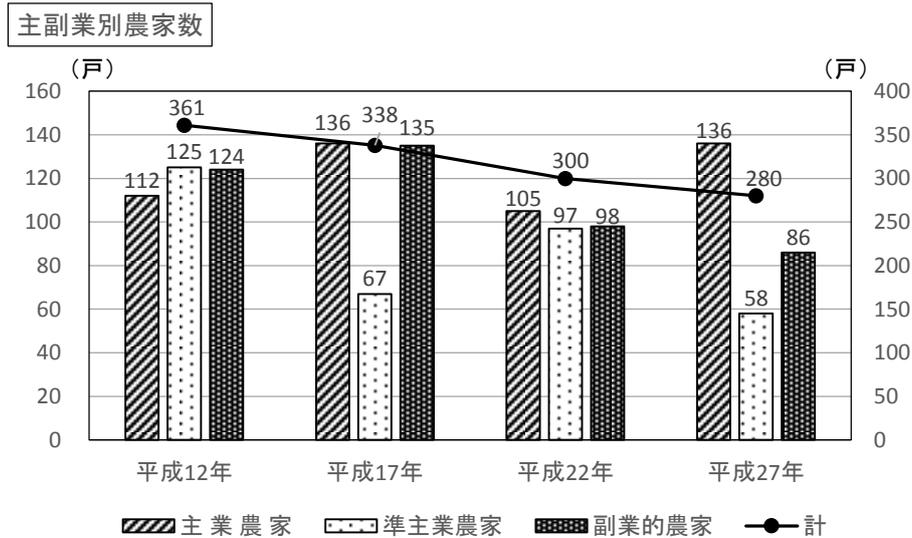
平成 27 年の恩納村の農業経営体は 281 経営体であり、そのほとんどが家族経営体である。

	農業経営体数		単位：経営体		
	農 業 経 営 体	家 族 経 営 体	法 人 経 営	組 織 経 営 体	法 人 経 営
恩納村 (H27)	281	280	X	1	X
沖縄県 (H27)	15,029	14,648	71	381	358

※資料：農業センサス

#### (2) 主副業別

販売農家の総数は減少傾向にあり、主副業別にみると、平成 27 年度では主業農家が総数の 5 割弱 (48.6%) を占める。主業農家は、平成 22 年のみ減少しているものの、平成 12 年と比べると増加しており、準主業農家と副業的農家は減少傾向にある。



※資料：農業センサス

#### [用語の解説]

販売農家…経営耕地面積 30 a 以上または農産物販売金額が年間 50 万円以上の農家。

主業農家…農業所得が主（農家所得の 50%以上が農業所得）で、1 年間に 60 日以上自営農業に従事している 65 歳未満の世帯員がいる農家。

準主業農家…農業所得が主（農家所得の 50%未満が農業所得）で、1 年間に 60 日以上自営農業に従事している 65 歳未満の世帯員がいる農家。

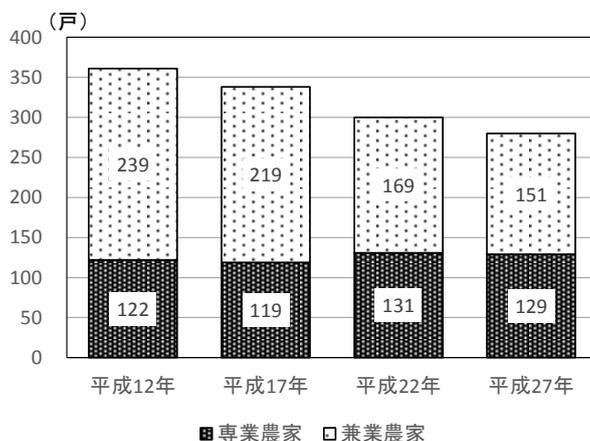
副業的農家…1 年間に 60 日以上自営農業に従事している 65 歳未満の世帯員がいない農家（主業農家及び準主業農家以外の農家）。

### (3) 専兼業別

平成27年では専業農家が129戸(46.1%)、兼業農家が151戸(53.9%)となっており、平成12年と比べて、専業農家はほぼ同じ戸数であるが、兼業農家は88戸減少している。

	計	専業農家			兼業農家		
		小計	男子生産年齢人口がいる	女子生産年齢人口がいる	小計	第1種兼業農家	第2種兼業農家
恩納村	平成12年	361	122	78	239	48	191
	平成17年	338	119	63	219	96	123
	平成22年	300	131	78	169	28	141
	平成27年	280	129	76	151	69	82
沖縄県(H27)	14,241	7,497	3,319	2,130	6,744	1,889	4,855

専兼業別農家数



※資料：農業センサス

### (4) 経営耕地面積規模別

農業経営体、販売農家ともに、0.5～1.0ha及び0.3～0.5haが多く、1.0ha未満の農家が8割弱を占める。

	計	経営耕地なし	経営耕地面積								
			0.3ha未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上
恩納村	平成17年	373	48	113	147	41	13	6	5	-	-
	平成22年	316	3	26	84	131	36	18	12	4	1
	平成27年	281	2	34	88	89	42	14	10	1	-
沖縄県(H27)	15,029	176	860	2,682	4,199	2,201	1,364	1,516	1,157	654	220

	計	経営耕地なし	経営耕地面積								
			0.3ha未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上
恩納村	平成12年	361	29	121	152	32	11	12	4	-	-
	平成17年	338	18	113	145	39	13	6	4	-	-
	平成22年	300	2	16	82	130	36	18	11	3	1
	平成27年	280	2	34	88	89	42	14	9	1	-
沖縄県(H27)	14,241	101	454	2,656	4,134	2,158	1,346	1,485	1,126	617	164

※資料：農業センサス

### (5) 農産物販売金額規模別

平成22年では、販売金額50～100万、100～200万円の農家が多かったが、平成27年は200～300万円の販売があった農業経営体・販売農家の数が平成22年の2倍以上に増加している。

農業経営体でみると、平成27年は『200万円以上』が5割弱（48.8%）を占め、沖縄県（23.2%）と比べて割合が高くなっている。また、『300万円以上』は58経営体（20.6%）で、平成22年（22.8%）よりはやや割合が低くなっているものの、本村における農業経営体の販売金額は県内においてはやや高い状況にあるといえる。

農産物販売金額規模別経営体数（農業経営体）

単位：経営体

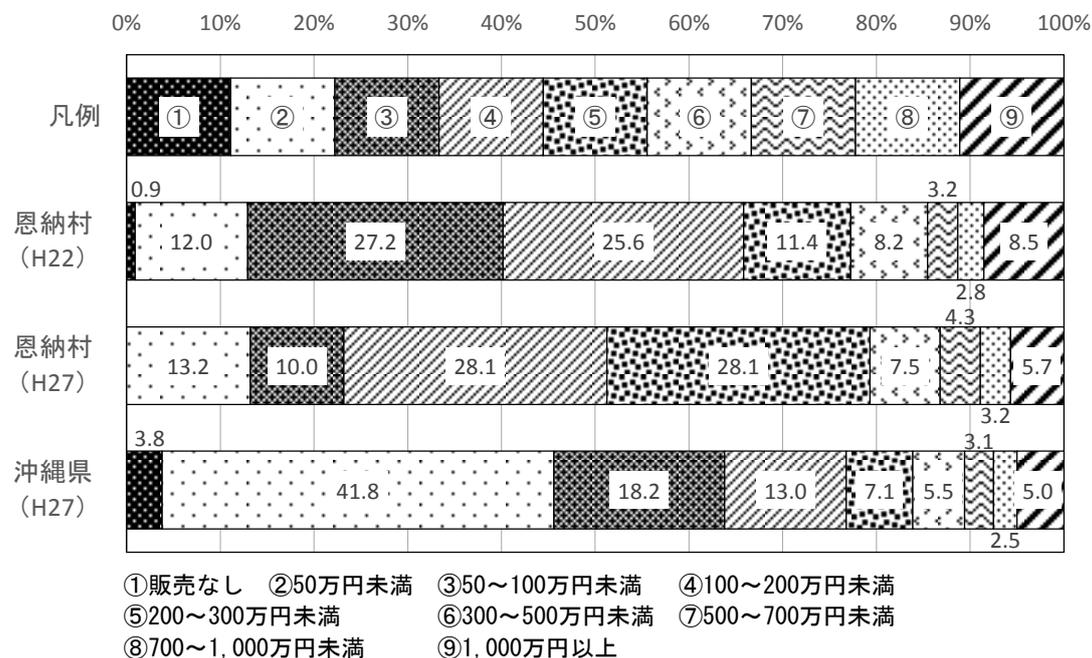
	計	販売なし	50万円未満	50～100	100～200	200～300	300～500	500～700	700～1,000	1,000～1,500	1,500～2,000	2,000～3,000	3,000～5,000	5,000万以上
恩納村（H22）	316	3	38	86	81	36	26	10	9	8	9	6	3	1
恩納村（H27）	281	-	37	28	79	79	21	12	9	7	7	1	1	-
沖縄県（H27）	15,029	565	6,284	2,742	1,951	1,071	828	468	373	281	147	145	77	97

農産物販売金額規模別農家数（販売農家）

単位：戸

	計	販売なし	50万円未満	50～100	100～200	200～300	300～500	500～700	700～1,000	1,000～1,500	1,500～2,000	2,000～3,000	3,000～5,000	5,000万以上
恩納村 平成12年	361	7	71	108	66	41	22	14	11	12	3	6	-	-
恩納村 平成17年	338	17	88	82	66	24	21	10	5	10	8	6	1	-
恩納村 平成22年	300	3	30	86	80	35	26	9	9	7	9	4	2	-
恩納村 平成27年	280	-	37	27	79	79	21	12	9	7	7	1	1	-
沖縄県（H27）	14,241	440	5,948	2,714	1,921	1,051	781	452	349	252	133	114	55	31

農産物販売金額規模別経営体数（農業経営体）



※資料：農業センサス

## (6) 農業生産関連の事業種類別

農業生産関連事業を行っているのは、153 経営体で 5 割強 (54.4%) となっており、平成 22 年に比べて、消費者に直接販売している経営体が急増している。一方で、その他の農業生産関連事業 (農産物の加工、貸農園・体験農園等、観光農園、農家民宿等) を行っている経営体はみられない。

農業生産関連事業を行っている経営体の事業種類別経営体数 単位：経営体

	計	農業生産 関連事業を 行っていない 経営体数	農業生産 関連事業を 行っている 実経営体数	事業種類別							
				農産物の 加工	消費者に 直接販売	貸農園・ 体験農園 等	観光農園	農家民宿	農家 レストラン	海外への 輸出	その他
恩納村 (H22)	316	293	23	3	16	4	-	-	-	-	2
恩納村 (H27)	281	128	153	-	153	-	-	-	-	-	-
沖縄県 (H27)	15,029	13,869	1,160	134	1,014	34	32	62	17	5	15

※資料：農業センサス

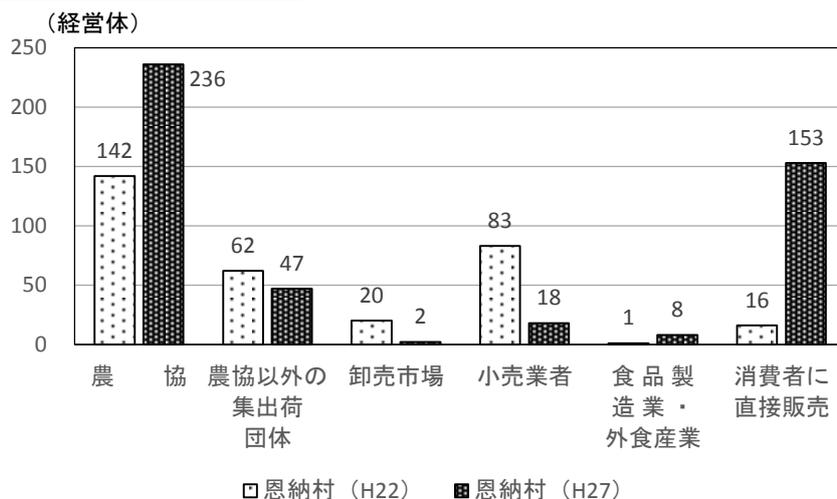
## (7) 農産物出荷先別

農協に出荷している経営体が 8 割強 (84.0%) で最も高く、次いで、自営ではない農産物直売所で、消費者に直接販売している経営体が 5 割強 (54.4%) となっている。平成 27 年は、平成 22 年と比べて消費者に直接販売、農協へ出荷している経営体が増え、逆に小売業者に出荷している割合が減っている。

農産物出荷先別経営体数 単位：経営体

	計	販売の なかった 経営体数	販売の あった 実経営体数	農産物の出荷先別 (複数回答)											
				農協	農協以外の 集出荷 団体	卸売市場	小売業者	食品製 造業・ 外食産業	消費者に 直接販売	自営の 農産物 直売所	その他の 農産物 直売所	インター ネット による 販売	その他の 方法	その他	
恩納村 (H22)	316	3	313	142	62	20	83	1	16	-	-	-	-	-	140
構成比	100.0%	0.9%	99.1%	44.9%	19.6%	6.3%	26.3%	0.3%	5.1%	-	-	-	-	-	44.3%
恩納村 (H27)	281	-	281	236	47	2	18	8	153	-	153	-	-	-	-
構成比	100.0%	-	100.0%	84.0%	16.7%	0.7%	6.4%	2.8%	54.4%	-	54.4%	-	-	-	-
沖縄県 (H27)	15,029	565	14,464	6,652	1,941	694	933	6,353	1,014	236	617	119	155	503	
構成比	100.0%	3.8%	96.2%	44.3%	12.9%	4.6%	6.2%	42.3%	6.7%	1.6%	4.1%	0.8%	1.0%	3.3%	

農産物出荷先別経営体数



※資料：農業センサス

### (8) 農業後継者の有無別

販売農家のうち、同居の後継者がいるのは77戸で3割弱(27.5%)にとどまり、他出の後継者もない農家が5割弱(48.6%)を占める。平成12年と比べると、後継者のいない農家の割合が増加している。

農業後継者の有無別農家数

単位：戸

	計	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			
		小計	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業 後継者が いる	他出農業 後継者が いない	
恩納村	平成12年	361	180	173	7	181	49	132
	構成比	100.0%	49.9%	47.9%	1.9%	50.1%	13.6%	36.6%
	平成17年	338	57	55	2	281	26	255
	構成比	100.0%	16.9%	16.3%	0.6%	83.1%	7.7%	75.4%
平成22年								
平成27年	280	77	72	5	203	67	136	
構成比	100.0%	27.5%	25.7%	1.8%	72.5%	23.9%	48.6%	
沖縄県(H27)	14,241	2,121	2,000	121	12,120	4,581	7,539	
構成比	100.0%	14.9%	14.0%	0.8%	85.1%	32.2%	52.9%	

※資料：農業センサス

### (9) 年齢別の農業経営者

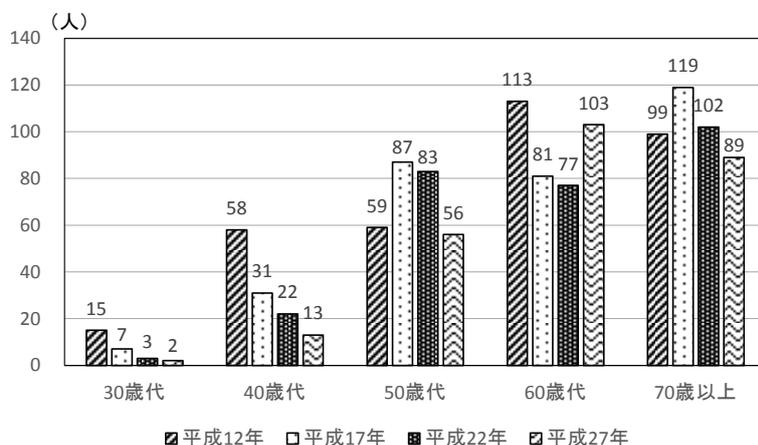
農業経営者の9割強(93.9%)は男性であり、男性経営者の年齢をみると、平成27年では60歳代が最も多く、次いで70歳以上となっている。30歳代、40歳代の経営者は年々減っており、平成22年と比較すると50歳代も少なくなっている。

年齢別農業経営者数

単位：人

	男女計	男							女							
		計	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
恩納村	平成12年	361	344	-	15	58	59	113	99	17	-	1	1	2	7	6
	構成比	100.0%	100.0%	-	4.4%	16.9%	17.2%	32.8%	28.8%	100.0%	-	5.9%	5.9%	11.8%	41.2%	35.3%
	平成17年	338	325	-	7	31	87	81	119	13	-	-	1	1	1	10
	構成比	100.0%	100.0%	-	2.2%	9.5%	26.8%	24.9%	36.6%	100.0%	-	-	7.7%	7.7%	7.7%	76.9%
平成22年	300	287	-	3	22	83	77	102	13	-	-	-	4	2	7	
構成比	100.0%	100.0%	-	1.0%	7.7%	28.9%	26.8%	35.5%	100.0%	-	-	-	30.8%	15.4%	53.8%	
平成27年	280	263	-	2	13	56	103	89	17	-	-	-	1	4	12	
構成比	100.0%	100.0%	-	0.8%	4.9%	21.3%	39.2%	33.8%	100.0%	-	-	-	5.9%	23.5%	70.6%	
沖縄県(H27)	14,241	13,134	49	336	866	2,956	4,265	4,662	1,107	-	16	44	138	240	669	
構成比	100.0%	100.0%	0.4%	2.6%	6.6%	22.5%	32.5%	35.5%	100.0%	-	1.4%	4.0%	12.5%	21.7%	60.4%	

年齢別農業経営者数(男性)



※資料：農業センサス

### (10) 年齢別の農業就業人口

農業就業人口（自営農業に主として従事した世帯員）は男女ともに年々減少しており、年齢別にみると特に40歳代男性が大幅に減少している。平成27年では、男性が6割強（63.1%）と大半を占め、70歳以上の男性が最も多く、次いで60歳代男性となっており、男女ともに年齢層が低くなるにつれて人数が少ない。

年齢別農業就業人口（自営農業に主として従事した世帯員数）

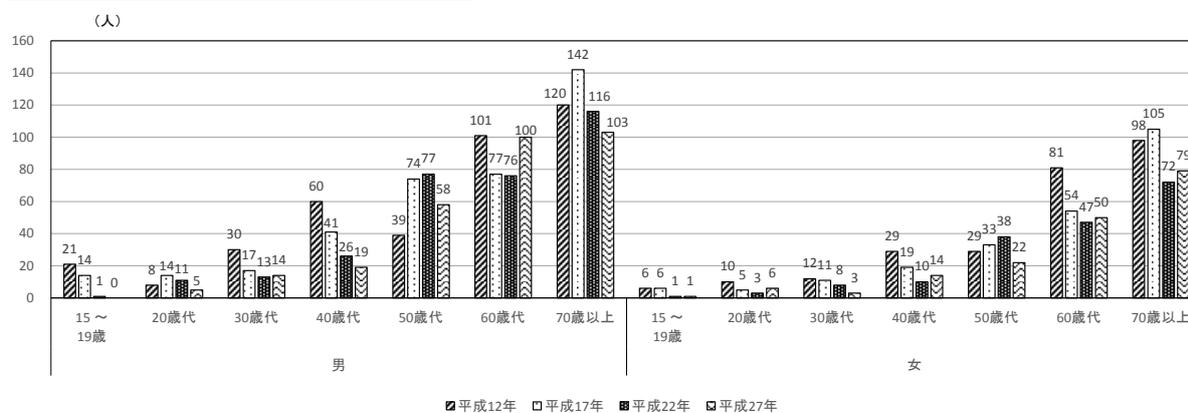
単位：人

	男女計	男								
		計	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
恩納村	平成12年 構成比	644	379 100.0%	21 5.5%	8 2.1%	30 7.9%	60 15.8%	39 10.3%	101 26.6%	120 31.7%
	平成17年 構成比	612	379 100.0%	14 3.7%	14 3.7%	17 4.5%	41 10.8%	74 19.5%	77 20.3%	142 37.5%
	平成22年 構成比	499	320 100.0%	1 0.3%	11 3.4%	13 4.1%	26 8.1%	77 24.1%	76 23.8%	116 36.3%
	平成27年 構成比	474	299 100.0%	- -	5 1.7%	14 4.7%	19 6.4%	58 19.4%	100 33.4%	103 34.4%
沖縄県（H27） 構成比	19,916	12,477 100.0%	160 1.3%	284 2.3%	519 4.2%	888 7.1%	2,204 17.7%	3,650 29.3%	4,772 38.2%	

単位：人

	男女計	女								
		計	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
恩納村	平成12年 構成比	265	265 100.0%	6 2.3%	10 3.8%	12 4.5%	29 10.9%	29 10.9%	81 30.6%	98 37.0%
	平成17年 構成比	233	233 100.0%	6 2.6%	5 2.1%	11 4.7%	19 8.2%	33 14.2%	54 23.2%	105 45.1%
	平成22年 構成比	179	179 100.0%	1 0.6%	3 1.7%	8 4.5%	10 5.6%	38 21.2%	47 26.3%	72 40.2%
	平成27年 構成比	175	175 100.0%	1 0.6%	6 3.4%	3 1.7%	14 8.0%	22 12.6%	50 28.6%	79 45.1%
沖縄県（H27） 構成比	7,439	7,439 100.0%	79 1.1%	93 1.3%	203 2.7%	430 5.8%	1,152 15.5%	2,215 29.8%	3,267 43.9%	

年齢別農業就業人口（自営農業に主として従事した世帯員数）



※資料：農業センサス

(11) 年齢別の基幹的農業従事者

基幹的農業従事者数（農業就業人口のうち、ふだんの主な状態が「主に仕事」である者）をみても、男女ともに年々減少しており、年齢別で減少幅が大きいのは、40歳代と70歳以上の男性、60歳代と70歳以上の女性となっている。また、農業就業人口と比べて、男性は大きな差はみられないが、女性の60歳代と70歳以上では基幹的農業従事者は農業就業人口の6割弱（58.1%）になる。

年齢別基幹的農業従事者数

（農業就業人口のうち、ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数）

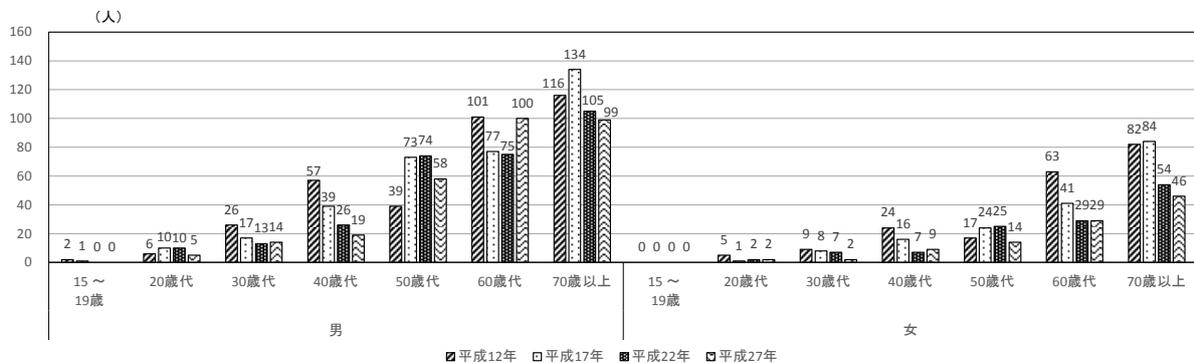
単位：人

	男女計	男								
		計	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
恩納村	平成12年 構成比	547	347 100.0%	2 0.6%	6 1.7%	26 7.5%	57 16.4%	39 11.2%	101 29.1%	116 33.4%
	平成17年 構成比	525	351 100.0%	1 0.3%	10 2.8%	17 4.8%	39 11.1%	73 20.8%	77 21.9%	134 38.2%
	平成22年 構成比	427	303 100.0%	-	10 3.3%	13 4.3%	26 8.6%	74 24.4%	75 24.8%	105 34.7%
	平成27年 構成比	397	295 100.0%	-	5 1.7%	14 4.7%	19 6.4%	58 19.7%	100 33.9%	99 33.6%
沖縄県（H27） 構成比	17,747	12,107 100.0%	8 0.1%	212 1.8%	505 4.2%	875 7.2%	2,191 18.1%	3,631 30.0%	4,685 38.7%	

単位：人

	男女計	女								
		計	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
恩納村	平成12年 構成比	200	200 100.0%	-	5 2.5%	9 4.5%	24 12.0%	17 8.5%	63 31.5%	82 41.0%
	平成17年 構成比	174	174 100.0%	-	1 0.6%	8 4.6%	16 9.2%	24 13.8%	41 23.6%	84 48.3%
	平成22年 構成比	124	124 100.0%	-	2 1.6%	7 5.6%	7 5.6%	25 20.2%	29 23.4%	54 43.5%
	平成27年 構成比	102	102 100.0%	-	2 2.0%	2 2.0%	9 8.8%	14 13.7%	29 28.4%	46 45.1%
沖縄県（H27） 構成比	5,640	5,640 100.0%	2 0.0%	35 0.6%	139 2.5%	312 5.5%	905 16.0%	1,680 29.8%	2,567 45.5%	

年齢別基幹的農業従事者数（農業就業人口のうち、ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数）



※資料：農業センサス

## 2) 栽培作物・飼養家畜等別の経営体数と作付（栽培）面積・飼養頭羽数

### (1) 作物の種類別

花き類・花木が141経営体で最も多く、沖縄県全体の1割強（11.5%）を占めており、平成22年と比べてもやや増加している。次いで、工芸農作物が111経営体、野菜類が101経営体となっている。

販売目的の作物の種類別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積

	稲		麦類		雑穀		いも類		豆類		工芸農作物		
	作付 経営体数	作付面積											
	経営体	ha											
恩納村 平成17年	12	8	-	-	3	X	18	0	-	-	-	158	92
恩納村 平成22年	12	10	-	-	-	-	9	2	2	X	132	117	
恩納村 平成27年	21	6	1	X	-	-	1	X	-	-	111	67	
沖縄県 (H27)	311	616	13	7	48	57	400	193	32	13	9,322	13,957	

	野菜類				花き類・花木				その他の作物			
	露地		施設		露地		施設		露地		施設	
	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積
恩納村 平成17年	72	13	20	2	132	78	79	18	5	2	1	X
恩納村 平成22年	76	67	10	18	2	121	102	64	83	34	1	X
恩納村 平成27年	101	99	X	11	1	141	139	66	69	18	-	-
沖縄県 (H27)	3,244	2,607	1,132	1,190	332	1,225	999	711	629	221	108	96

※資料：農業センサス

### (2) 稲、麦、雑穀、いも類、豆類

水稻が21経営体で6haの作付面積がある。その他、小麦、かんしょの栽培はわずかにみられる。

販売目的の稲、麦、雑穀、いも類、豆類の作物別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積

	水稲		小麦		かんしょ	
	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積
	経営体	ha	経営体	ha	経営体	ha
恩納村 (H27)	21	6	1	X	1	X
沖縄県 (H27)	311	616	13	7	262	140

※「陸稲、大麦・裸麦、そば、その他の雑穀、ばれいしょ、大豆、小豆、その他の豆類」については、恩納村（平成27年）では栽培がない。

※資料：農業センサス

### (3) 工芸農作物

さとうきびが111経営体、66haの作付面積がある。

販売目的の工芸農作物の作物別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積

	さとうきび		茶		その他の工芸農作物	
	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積
	経営体	ha	経営体	ha	経営体	ha
恩納村 (H22)	131	-	1	-	-	-
恩納村 (H27)	111	66	-	-	5	1
沖縄県 (H27)	9,046	12,996	27	21	212	122

※「たばこ、てんさい（ビート）、こんにゃくいも」については、恩納村（H22、H27）では栽培がない。

※資料：農業センサス

#### (4) 野菜類

だいこんが11経営体、ねぎ8経営体、トマト6経営体と続いている。また、その他の野菜を栽培している経営体が89ある。

販売目的の野菜類の作物別作付(栽培)経営体数と作付(栽培)面積

	だいこん		にんじん		さといも		やまのいも		キャベツ		レタス	
	作付 経営体数	作付面積										
	経営体	ha										
恩納村(H27)	11	1	1	X	1	X	4	1	4	0	1	X
沖縄県(H27)	289	32	340	77	101	23	26	3	515	108	239	41

	ねぎ		なす		トマト		ピーマン		その他の野菜	
	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積	作付 経営体数	作付面積	作付(栽培) 経営体数	作付面積
	経営体	ha	経営体	ha	経営体	ha	経営体	ha	経営体	ha
恩納村(H27)	8	1	3	0	6	0	4	0	89	11
沖縄県(H27)	147	13	140	11	320	43	198	40	2,402	901

※「はくさい、ほうれんそう、たまねぎ、ブロッコリー、きゅうり、いちご、メロン、すいか」については、恩納村(H27)では栽培がない。

※資料：農業センサス

#### (5) 果樹類

果樹類を栽培している経営体が102あり、露地栽培が89経営体、施設栽培が54経営体となっている。また、その他の果樹を栽培している経営体が94ある。

販売目的で栽培した果樹類の品目別栽培経営体数と栽培面積

	栽培 実経営体 数	露地		施設		その他かんきつ		パイナップル		その他の果樹	
		栽培 経営体数	栽培面積	栽培 経営体数	栽培面積	栽培 経営体数	栽培面積	栽培 経営体数	栽培面積	栽培 経営体数	栽培面積
		経営体	ha	経営体	ha	経営体	ha	経営体	ha	経営体	ha
恩納村(H27)	102	89	25	54	7	8	2	5	1	94	28
沖縄県(H27)	1,962	1,409	1,124	754	229	688	412	343	480	1,023	402

※「温州みかん、りんご、ぶどう、日本なし、西洋なし、もも、おうとう、びわ、かき、くり、うめ、すもも、キウイフルーツ」については、恩納村(H27)では栽培がない。

※資料：農業センサス

#### (6) 花き類

花き類を栽培しているのは141経営体で、平成22年より増加しており、とりわけ切り花類が113経営体と多い。

販売目的で栽培した花き類の

品目別栽培経営体数

単位：経営体

	栽培 実経営体 数	切り花類	鉢もの類	花壇用 苗もの類
恩納村(H22)	93	79	19	1
恩納村(H27)	141	113	34	-
沖縄県(H27)	1,124	1,003	140	16

※「球根類」については、恩納村(H22、H27)では栽培がない。

※資料：農業センサス

(7) 家畜等

ブロイラーが8経営体で約65.6万羽となっており、出荷羽数でみると沖縄県全体の2割強(24.0%)を占める。また、数は多くはないものの、肉用牛や豚、採卵鶏を飼養している経営体もある。

販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭数

	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		栽培きのこの この 栽培経営 体数	
	飼養 経営体数	飼養頭数	飼養 経営体数	飼養頭数	飼養 経営体数	飼養頭数	飼養 経営体数	飼養羽数	出荷した 経営体数	出荷羽数		
	経営体	頭	経営体	頭	経営体	頭	経営体	100羽	経営体	100羽		
恩納村	平成12年	1	X	8	230	2	X	3	105	9	6,770	6
	平成17年	1	X	5	114	2	X	4	8	9	11,182	
	平成22年	1	X	11	319	1	X	2	X	8	8,283	
	平成27年	-	-	6	X	3	X	4	0	8	6,560	
沖縄県(H27)	74	4,018	1,667	50,293	136	130,266	68	12,523	13	27,318	28	

※資料：農業センサス

(8) 農業経営組織別農家数

販売のあった農家280戸のうち、主位部門の販売金額が8割以上となる単一経営が202戸で7割強(72.1%)を占め、準単一複合経営が52戸(18.6%)、複合経営が26戸(9.3%)となっている。単一経営では、花き・花木が104戸で最も多く、次いで果樹類が44戸、工芸農作物が25戸となっている。

平成12年と比べると、販売農家数は減少しており、特に単一経営の農家の減少幅が大きく、86戸(約3割)減である。一方、複合経営の農家はやや増加している。

農業経営組織別農家数

単位：戸

	販売の あった 農家数	単一経営 (主位部門の販売金額が8割以上の経営)														その他の 畜産	
		計	稲作	麦類作	雑穀・ いも 類・ 豆類	工芸 農作物	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	花き・ 花木	その 他の 作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏		
恩納村	平成12年	354	288	5	-	-	130	13	-	24	100	-	1	5	1	9	-
	構成比	100.0%	81.4%														
	平成17年	321	275	2	-	-	119	7	2	31	101	-	1	5	-	7	-
	構成比	100.0%	85.7%														
恩納村	平成22年	297	233	2	-	1	90	4	2	30	88	-	1	6	1	7	1
	構成比	100.0%	78.5%														
恩納村	平成27年	280	202	5	1	-	25	10	1	44	104	-	-	5	1	5	1
	構成比	100.0%	72.1%														
沖縄県(H27)	13,801	11,955	96	2	76	7,229	877	483	1,022	909	28	41	1,073	62	35	22	
	構成比	100.0%	86.6%														

単位：戸

	計	準単一複合経営 (主位部門の販売金額が6割以上8割未満の経営)											複合経営 (主位部門 の販売金額 が6割未満 の経営)		
		小計	雑穀・ いも 類・ 豆類	工芸 農作物	露地 野菜	果樹類	露地野 菜が 主位の もの	施設野 菜が 主位の もの	果樹 類が 主位の もの	花き・ 花木が 主位の もの	肉用 牛が 主位の もの	養鶏 が 主位の もの		その他	
恩納村	平成12年	61	4	-	3	-	1	7	1	12	19	-	1	17	5
	構成比	17.2%													1.4%
	平成17年	36	5	1	3	-	1	2	1	4	6	-	-	18	10
	構成比	11.2%													3.1%
恩納村	平成22年	54	2	-	1	-	1	5	1	9	18	-	1	18	10
	構成比	18.2%													3.4%
恩納村	平成27年	52	2	-	-	2	-	8	1	21	16	1	1	2	26
	構成比	18.6%													9.3%
沖縄県(H27)	1,600	41	1	27	6	3	335	245	205	95	239	1	436	246	
	構成比	11.6%													1.8%

※資料：農業センサス

### (9) 販売農家の経営耕地の状況

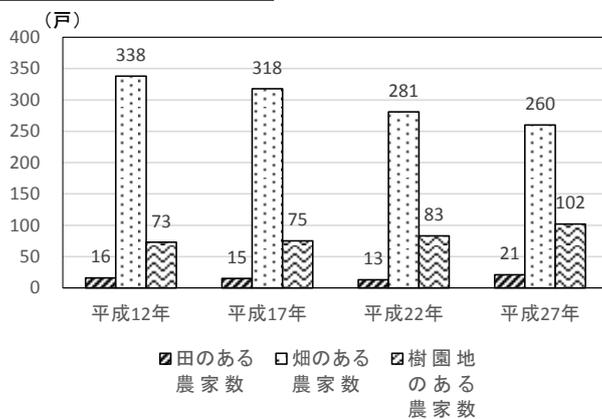
経営耕地のある農家が278戸あり、そのうち畑のある農家が260戸、樹園地のある農家が102戸、田のある農家が21戸となっている。畑のある農家数が年々減少傾向にあり、樹園地のある農家数はやや増加している。また、耕地面積で見ると、総面積が207haであり、そのうち畑が170ha(82.1%)、樹園地が31ha(15.0%)、田が6ha(2.9%)である。

経営耕地の状況

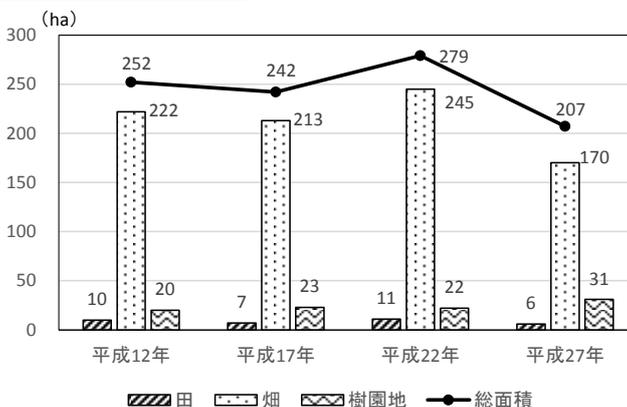
	経営耕地のある農家数	経営耕地の総面積	田											
			田のある農家数		面積		稲を作った田				稲以外の作物だけを作った田		何も作らなかった田	
							食用		二毛作した田		農家数		面積	
			戸	ha	戸	ha	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積
恩納村	平成12年	252	16	10	16	10	-	-	-	-	-	1	0	
	平成17年	242	15	7	13	7	-	-	2	2	2	1	0	
	平成22年	298	279	13	11	12	11	-	-	1	0	1	0	
	平成27年	278	207	21	6	21	6	21	6	-	-	1	0	
沖縄県(H27)	14,140	22,733	387	561	339	521	339	521	55	70	65	20	20	

	畑のある農家数	面積	畑(樹園地を除く)								樹園地		
			普通作物を作った畑		飼料用作物だけを作った畑		牧草専用		何も作らなかった畑		樹園地のある農家数	面積	
			農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積			
戸	ha	戸	ha	戸	ha	戸	ha	戸	ha	戸	ha		
恩納村	平成12年	338	222	334	213	3	2	4	6	11	4	73	23
	平成17年	318	213	313	204	4	4	2	3	20	6	75	20
	平成22年	281	245	266	222	2	0	9	13	30	11	83	22
	平成27年	260	170	257	162	-	-	5	5	11	3	102	31
沖縄県(H27)	13,179	20,933	12,283	16,767	133	213	1,424	3,270	1,046	682	1,778	1,239	

経営耕地の状況(農家数)



経営耕地の状況(面積)



※資料：農業センサス

### 3) 漁業経営体数

#### (1) 漁業経営体

平成 25 年の個人経営体数は 103 経営体となっており、うち 69.9%が専業、30.1%が兼業となっている。沖縄県と比較すると、専業の割合が高い。平成 20 年と平成 25 年と比較すると、全体で 4 経営体の増加となっており、専業、兼業の内訳を比較すると、専業が大幅に増加している。

#### ■専業別個人経営体数の推移

単位：経営体、%

		計	専業 (自営業のみ)	小計	兼業	
					自営漁業が主	自営漁業が従
恩納村	平成15年	112	31	81	50	31
	構成比	100.0%	27.7%	72.3%	44.6%	27.7%
	平成20年	99	31	68	63	5
	構成比	100.0%	31.3%	68.7%	63.6%	5.1%
	平成25年	103	72	31	30	1
	構成比	100.0%	69.9%	30.1%	29.1%	1.0%
沖縄県(平成25年)		2,583	1,495	1,088	571	517
構成比		100.0%	57.9%	42.1%	22.1%	20.0%

資料：漁業センサス

#### (2) 出荷先別

ほとんどの漁業経営体が、漁協の市場又は荷さばき所に出荷している。沖縄県でみると、自家販売や流通業者・加工業者に出荷している経営体もそれぞれ2割弱となっているが、恩納村ではほとんどみられない。

#### ■出荷先別延べ経営体数

単位：経営体

	計 (実数)	漁協の 市場 又は 荷さばき 所	漁協以外 の 卸売市場	流通業者 ・ 加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
恩納村 (H20)	99	99	-	-	1	-	2	6	-
恩納村 (H25)	103	102	-	1	-	-	-	1	1
沖縄県 (H25)	2,616	2,113	266	411	283	5	59	476	177

資料：漁業センサス

#### (3) 販売金額別

平成 25 年の販売金額別経営体数をみると、300～500 万円未満が約 3 割 (29.1%) で最も多く、次いで 500～800 万円未満 (20.4%) となっている。

『300 万円以上』について、平成 25 年 (68.0%) と平成 20 年 (49.5%) を比較すると、その割合は 2 割程度高くなっており、販売金額の上昇がみられる。また、沖縄県では『300 万円以上』が 30.0% となっていることから、本村における漁業経営体の販売金額は県内においては高い状況にあるといえる。

		漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数											単位：経営体、%		
		販売 金額 なし	100万円 未満	100～ 300万円 未満	300～ 500万円 未満	500～ 800万円 未満	800～ 1,000万円 未満	1,000～ 1,500万円 未満	1,500～ 2,000万円 未満	2,000～ 5,000万円 未満	5,000万円 ～1億円 未満	1～ 2億円 未満	2～ 5億円 未満	5億円 以上	
恩納村	平成20年	99	13	37	36	9	2	2	-	-	-	-	-		
	構成比	100.0%	13.1%	37.4%	36.4%	9.1%	2.0%	2.0%	-	-	-	-	-		
沖繩県(平成25年)	平成25年	103	13	20	30	21	12	4	3	-	-	-	-		
	構成比	100.0%	12.6%	19.4%	29.1%	20.4%	11.7%	3.9%	2.9%	-	-	-	-		
		2,583	949	859	360	185	87	53	24	18	4	6	1		
		100.5%	36.7%	33.3%	13.9%	7.2%	3.4%	2.1%	0.9%	0.7%	0.2%	0.2%	0.0%		

資料：漁業センサス

## 4) 漁獲量

### (1) 魚種別

海面漁業より海面養殖業の収穫量が多く、平成 27 年では養殖業が海面漁業の約 5.3 倍、平成 26 年では約 14.1 倍にもなっている。海面養殖業では、漁獲量の 9 割弱 (86.5%) をもずく類が占める。

一部魚種の漁獲量を年度別にみると、ここで挙げられているすべての魚種において、年度によって漁獲量の差が大きくなっている。特に、平成 26 年はもずくと魚類を除き大幅に減少しており、一方で平成 27 年はもずくと魚類が大幅に減少している。

■魚種別漁獲量

単位：t

年度	海面漁業						海面養殖業						
	計	魚類					貝類	いか類	たこ類	計	生のり類	もずく類	その他の海藻類
		小計	まぐろ類	かつお類	あじ類	その他の魚類							
H25	94	35	1	1	1	31	25	5	28	940	54	843	43
H26	105	38	0	2	1	34	34	4	28	1,479	49	1,309	121
H27	106	39	0	2	1	35	34	4	28	565	34	489	43

資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」

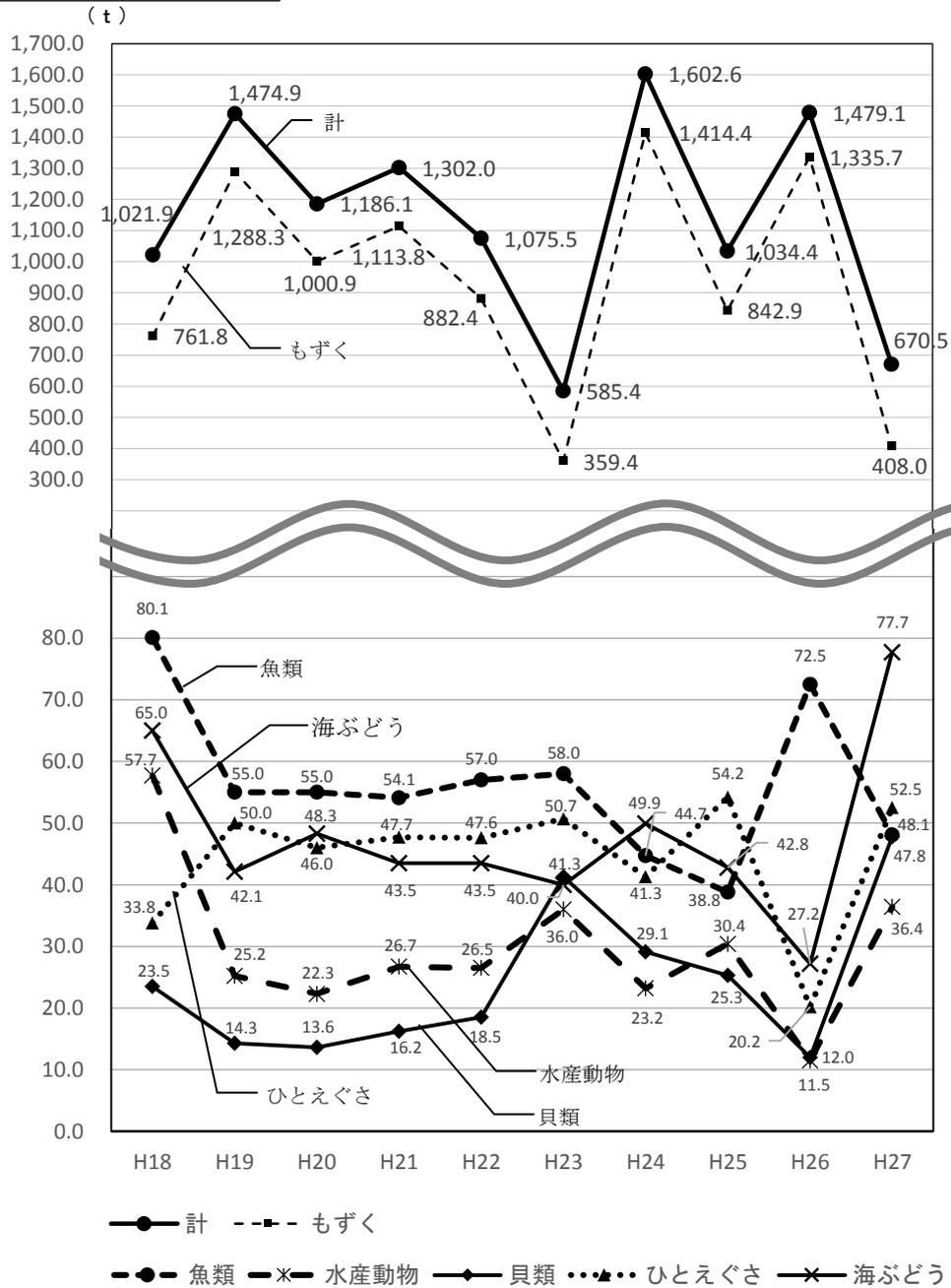
■魚種別漁獲量（一部）

単位：t

	計	魚類	水産動物	貝類	もずく	ひとえぐさ	海ぶどう
H18	1,021.9	80.1	57.7	23.5	761.8	33.8	65.0
H19	1,474.9	55.0	25.2	14.3	1,288.3	50.0	42.1
H20	1,186.1	55.0	22.3	13.6	1,000.9	46.0	48.3
H21	1,302.0	54.1	26.7	16.2	1,113.8	47.7	43.5
H22	1,075.5	57.0	26.5	18.5	882.4	47.6	43.5
H23	585.4	58.0	36.0	41.3	359.4	50.7	40.0
H24	1,602.6	44.7	23.2	29.1	1,414.4	41.3	49.9
H25	1,034.4	38.8	30.4	25.3	842.9	54.2	42.8
H26	1,479.1	72.5	11.5	12.0	1,335.7	20.2	27.2
H27	670.5	48.1	36.4	47.8	408.0	52.5	77.7

資料：港勢調査

魚種別漁獲量（一部）



(2) 漁業種別

平成 25 年の漁獲量は 1,008.8 t となっている。うち約 9 割 (90.6%) が海面養殖業 (914.4 t) となっていることから、本村の漁業は海面養殖業が中心となっていることがわかる。



## 5) 地産地消に関わる活動

村内では、冬季を中心に恩納村産業まつりをはじめ、各地域で産業まつりが開催されている。

### (1) 恩納村産業まつり (2月)

毎年2月に開催される恩納村産業まつりでは、恩納村産の野菜や果物、海ぶどうやモズク等の農水産物の販売等が行われており、村内外から多くの人々が訪れるイベントとなっている。

### (2) 山芋スーブ (12月)

毎年12月に宇加地公民館で開催される山芋スーブは、一つの種芋からできた芋の総重量を競う大会で、毎年、区内外から多くの方が出場し、4月に植え付け丹精込めて育てた自慢の山芋を披露している。山芋1個の大きさを競う「大物賞」となった山芋は恩納村産業まつりで展示される。

### (3) 名嘉真区産業まつり (1～2月)

毎年旧正月に名嘉真区公民館で開催されており、区民が生産した農産物を中心に展示やセリ等が行われる他、地元産の農産物を加工した商品の展示・販売等も行われている。

### (4) 喜瀬武原区産業まつり (2月)

毎年2月に喜瀬武原区公民館で開催されており、区民が生産した農産物や地元産の農産物を加工した商品等の展示・販売の他、区内で栽培された花き類のセリ等が行われている。

### (5) 安富祖区コスモスまつり (2月)

2016年度の緑肥コスモス緑化事業の取り組みの一環として、水田の二期作終了後の休耕地に11月末から12月初旬にかけてコスモスの種をまき、そのコスモスが見頃となる2月に開催されている。一面に広がるコスモスを背景に農産物の販売、地元産の農産物を活用した商品の展示・販売等が行われている。